

稲越子ども会育成会たより

稲越秋祭り開催中止のお知らせ

稲越子ども会育成会 会長 服部英信

新涼の候、皆様におかれましては、相変わらずご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご指導・ご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

現在はさかき神輿を大人達が担いでいる

稲越子ども会は先人達のたゆまぬ努力によって昭和48年(1973)11月に創立されました。当時は第1次オイルショックと狂乱物価という想像を絶する世の中でしたが、江崎玲於奈博士のノーベル賞受賞や振かえ休日が始まるなど明るい話題もあり、子ども達の健全育成を願う若い情熱が大きな力となり、子ども会創立の大きな流れとなりました。

子ども会秋祭りは、昭和55年(1980)第1回が開催され、平成30年(2018)まで秋祭りは連綿と敢行されました。最初は樽神輿だけのものでしたが、数年後には寄付金と子ども会費で待望の子供神輿を購入して祭りの形が整いました。途中準備委員会形式の期間もありましたが、平成8年(1996)子ども会として稲越の伝統神輿である樽神輿を復活させ、地域の睦(祭り愛好家)の方々の協力も得て、山車(子供神輿)との共演によって稲越町の子ども達の活性化を図りました。



樽神輿は女の子たちが担いでいた

しかし令和元年度は台風の影響で突然の中止を余儀なくされ、さらに令和2年度も新型コロナウイルスの終息の見通しが立たず、各執行役員のご意見をお聞きした結果、細心の注意を払っても開催は不可能との結論に達しました。

稲越秋祭りは、厳島神社様や自治会の皆様はじめ稲越町の大勢の協力者のご支援で成し得るもので、子ども会だけの力では開催する事は出来ません。

2年連続の中止となれば38年間の歴史を培ってきた秋祭りの意義も薄れるかに思われますが、モチベーションを下げることなく来年に向かって希望の光を繋いでいきます。

今後とも皆様方のご理解とご協力を心よりお願い申し上げ、稲越秋祭り中止のお知らせとさせていただきます。(稲越子ども会創立は市子育連登録年月としました)



子ども神輿は子供の担ぎ手がないのでワーカーに横んで引張る



昔は子供神輿、宮出しは子供たちが担ぎ、途中から大人達が担ぐことに



第434号
稲越自治会
広報部
部長 一之瀬孝雄
副田 中智



SDGs [持続可能な開発目標] 第二回目寄稿 (R・S)

先月号の続きです。SDGsの成り立ち一國連採択までの経緯
今からおよそ半世紀前 1972 年に民間のシンクタンク「ローマクラブ」の報告書「成長の限界」は世界的に注目されました。

資源と地球の有限性に着目し「人口増加、環境汚染、軍拡などの現在の傾向が続けば、100 年以内に地球上の成長は限界に達する」と警鐘を鳴らしました。ただしNPO組織には世界各国に拘束力がなく国連に引き継がれました。その後MDGsになり現在のSDGsに発展しました。

さて、今月からは【17】の目標(下図)のゴールを当自治会や地域コミュニティに沿って進めてまいります。

身近な目標例から【11】住み続けられるまちづくりをです。
8月号で既報の「鯉のぼりフェスタ」は、昨年全国ふるさとイベント大賞で(次点)を獲得しました。子どもから高齢者まで毎年待ち遠しいイベントに成長させていただきました。
稲越町に住んでよかった、これからは住み続けていきたい町にと反響が大きい!
梨畑・遊水地・河川は緑で覆われコンクリートで固められた街より暮らしに潤いを与え水辺は涼しい。ヒートアイランドを和らげる。

【4】質の高い教育をみんなに
コロナ禍で、つい先頃まで子どもたちは学校という居場所を奪われてしまいました。その間の小中学校の「学校たより」をまとめていただきました。
2月末からの休校、春休み・遅れてしまった入学式・短い夏休みと。先生も、親も、子ども達もかなりのストレスがたまりましたね。
例年だったら夏休みは「寺子屋」で皆と一緒に勉強できたのに! 憎きコロナそんな中、教科書に合わせた授業動画を YouTube で無料配信をされた方が TV で紹介されました。スマホ、タブレット、PC、プリンターなど環境が整っている方は、試視聴する価値も。もちろん学校現場はそれ以上「誰一人取り残さない」取り組みは、SDGs以前からだ!

持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

① 貧困	② 飢餓	③ 保健	④ 教育	⑤ ジェンダー	⑥ 水・衛生
1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
⑦ エネルギー	⑧ 成長・雇用	⑨ インフラ	⑩ 不平等	⑪ 都市	⑫ 生産・消費
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
⑬ 気候変動	⑭ 海洋資源	⑮ 陸上資源	⑯ 平和	⑰ 実施手段	
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすすめる	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

「不便の益」

「何なことを考えたことある? ない?」 奇稿 (Y・I)
「ハウレーカ!」
ハウレーカとは古代ギリシャ語「わかった」[発見した]
先日、NHK・E テレで又吉直樹の「ハウレーカ!」と言う教養バラエティー番組で京都大学情報科学研究科の川上浩司特定教授が提唱されている「不便益(不便の益)」と言う番組の内容が興味があったので紹介します。毎週命題を変えて放送していますよ。



最近 AI(人工知能)が人間の仕事を代替したり、IoT 家電(ネットと連動)が普及したりと便利なモノ・コト加速してそれを使用した人達が空いた時間帯の利用活用がうまく出来ず「心」に空洞が生じて満足感が得られないと思う人が始めている。
そこで、現代社会を肯定しながら「心」に満足感を見いだせるものは何か?と考えられたのが【不便益(不便の益)】である。これを提唱されているのが京都大学の川上浩司教授である。これ以上の内容を知りたい方は、自分で進めて「不便の益」の一步へ。



令和2年・国勢調査 *調査票の提出は10月1日~10月7日です。